

養老町立小学校再編準備委員会 第1回教育部会協議事項報告

日 時：令和8年4月22日（水） 16:00～18:20

場 所：養老町役場 3階第4会議室

出席者：教育部会員7名（欠席者なし）

◆協議事項

- 1) 学校の特色について
- 2) 学校像、教育目標について

今回の部会では、新しい学校の「学校像」や「教育目標」について協議するものとしていたが、養老町においてはやはり「人権教育」が軸（基本）となることを確認した。続けて、学校像や教育目標について、さらに議論を深めていくには、あまりにもテーマとして大きく、重い内容であるため、議論の取り掛かりとして、現在、各小学校において取り組んでいる「特色ある活動」について洗い出すことにした。例えば、養老小であればオペレッタ、上多度小なら水谷文庫、池辺小や笠郷小なら薩摩義士、養北小ならよさこいソーラン、日吉小なら象鼻山太鼓や室原文楽などといったもの。

◆協議結果

- ・新しい学校では、こうした取組をどのようにして取り組んでいくのか。また、そのためのカリキュラムのたたき台を作るために、あらかじめ各校の取組からピックアップしておいてはどうか。
- ・現在、地域の伝統文化であっても学校の取組として取り上げられているものと、そうでないものがある。統合の取組を進める中で、地域それぞれの取組が取捨選択されたり、自分が通っていた学校の文化が塗り替えられてしまうと感じる子どもが出てくるのではないか。なお、こうした取組には地域の方の協力が欠かせないので、これまで学校が積み重ねてきた地域とのつながりを今後も大切にしなければいけない。
- ・新しい学校で取り組むことを大人だけで決めてしまうのではなく、子どもたちが何をしたいのか、自分たちで選べることはもちろんのこと、子どもたちの声を聴いてあげる仕組みがあると良い。それらのことを大切に進めれば、地域住民から喜ばれるだけでなく、学校の統合についても住民からの理解が得られるのではないか。
- ・統合までの取組として、お互いのことを知ることや（お互いの学校のことを）理解する必要があることから、統合前から特色ある各学校の活動の様子（映像）をお互いの学校で視聴したり、ケーブルテレビを活用して広く町民に発信してはどうか。

・学校間交流の取組の現状について情報共有

⇒委員会活動や運動会、学校行事をはじめ時間割や日課などについても、今後検討する必要がある。特に、統合後の学校では、バス通学が想定されることから、始業時間を定めなければ日課が決まらないこともあり、今後、部会での検討課題のひとつとすることとした。

◆次回の部会の開催について

6月9日（火）16時～ 役場会議室において開催予定

⇒学校行事のすり合わせや教室の配置等について協議する予定